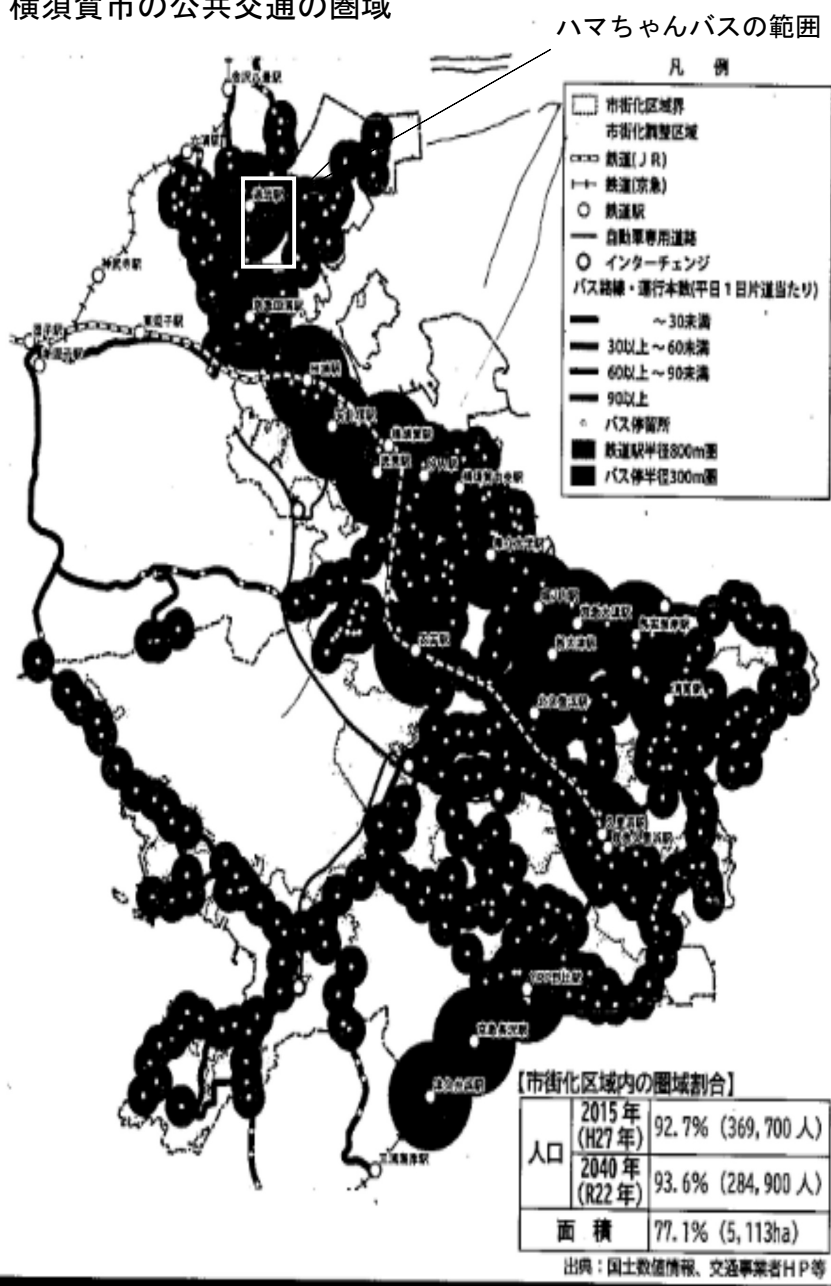


横須賀市の公共交通の圏域



横須賀市の地域バス 独自で運行 稲沢市とは大きく異なる

11月15日〜16日の2日間、稲沢市議会総務委員会で横須賀市の「ハマちゃんバス」と南足利市の「メディア発信事業」について視察を行いました。視察内容を紹介します。

ハマちゃんバスは追浜駅とパークハウス・ルネ追浜(どちらも団地)を結んで、1年間の試験運行をしたのち、本格運行を始めたとのこと。ハマちゃんバスの運行区間は左図の通り横須賀市の中の一部区間です。

ハマちゃんバスの運行経路は追浜駅と2つの団地(高低差が50メートル)を基本的

ハマちゃんバスの運行は①地域住民が主役、②運行経費(ランニングコスト)に補助しないことを前提に開始したとのことでした。

ハマちゃんバスの運行経路は追浜駅と2つの団地(高低差が50メートル)を基本的

1日平均の利用者数は100人を超え、新型コロナウイルス

に結び、1乗車300円必要とのことでした。運行経費に補助しないことを前提に運行しているため、300円に対する苦情は出ていないとのことでした。

南足柄市の無料メディア発信事業

南足柄市は知名度向上・地域活性化にむけ、3年前にシティプロモーション班を立ちあげ、①住民向けの「PR、無料で手伝います」、②各種メディア向け「取材にロケ、無料で手伝います」を行っているとのこと。

①では市内の事業者や団体が各種メディアに取り上げられるように、登録事業者の情報(南足柄ネクタ通信)し、また事業者の取材に対する負担軽減を図っているとのこと。

多くの人に利用してもらおうには、1時間に1便以上走らせることが必要ではないか。運行経費への補助を行わない代わりに、車両の購入費用は全額市が負担しているとのことでした(5年以上使用することを前提)。

また②では市内で取材やロケを行うテレビや新聞などの制作会社をサポートしているとのこと。



特定の企業を応援するのではなく、情報発信したい企業等をすべて登録してもらい、各種メディアで紹介しているとのこと、これまでトラブルはなかったとのこと。



情報発信
 事業者連携
 取材対応